

NANTAN

# 119たより

NANTAN  
FIRE DEPARTMENT  
2016  
No. 11



▲消防教室（朝来子育て学習センター）

## 災害状況



平成28年

10月20日現在

- ・火災… 26 件
- ・救急… 2,520 件
- ・救助… 43 件

## 主な内容

### 特集

住宅用火災警報器に関する調査結果 … 2・3

◆ 養父市・朝来市一斉避難訓練 ..... 4

第45回全国消防救助技術大会

◆ 平成28年度防火ポスター入選発表 ..... 5

◆ 消防写真館 ..... 6・7

消防白書・火災調査レポート

◆ お知らせ ..... 8

# 住宅用火災警報器に関する調査結果



▲和田山町西土田 消防教室の様子

消防本部では、住宅用火災警報器(以下、「住警器」という)に関する住民の皆さんの意識と設置状況及び維持管理状況を把握するため、昨年度に続き養父・朝来の両市でアンケート調査を実施しました。今回は両市内の居住者800人を対象に実施したところ、329人(41.1%)から回答があり、設置率は90.6%でした。設置率のほか、住民の皆さんのが住警器に関してどのような意識を持つておられるかなど、今後の住警器の設置率向上、適正な維持管理や住宅防火対策の推進に役立てたいと考えています。

一方、「設置していない」「設置していないし、今後も設置は考えていない」と答えた人は15人(4.5%)で、理由について尋ねると、「設置がわからないので」「値

なお、地域別の設置率を見てみると、一番高かつたのが山東・朝来の100%、次いで和田山の96.1%、以下、関宮が94.1%、生野が91.7%、養父が82.9%、八鹿が77.6%、大屋が69.2%でした。

(表1 参照)

また、「まだ設置していないが、すぐに設置しようと思っている」と答えた人が16人(4.9%)、既に設置している人を合わせれば、今後の設置率は95.5%を見込めます。

なお、地域別の設置率をみる場合、設置していないが、今後設置しようと思っている16人(4.9%)を含むと、平成28年6月1日時点の全国の設置率81.2%と比べると約9ポイント上回っています。

## 地域別住警器の設置状況

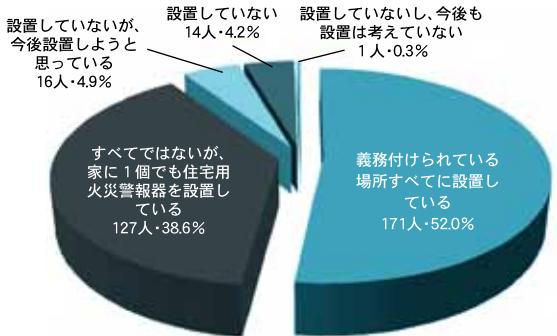


表1 地域別設置数

区分	合計	八鹿	養父	大屋	関宮	生野	和田山	山東	朝来
回答数	329	58	41	13	17	24	103	35	38
設置している	298	45	34	9	16	22	99	35	38
設置していない	31	13	7	4	1	2	4	0	0
設置率	90.6	77.6	82.9	69.2	94.1	91.7	96.1	100	100

図1 住警器の設置状況

段が高いので「自力では設置できないので」「借家・賃貸のため自分で設置できない」などの回答でした。

## まず寝室に設置を

次に住警器の設置場所について、『火災予防条例では原則として寝室に設置し、寝室が2階以上にある場合は階段上部にも煙式の警報器を設置することとなっていますが、ご存知ですか』と尋ねると、「よく知っている」は155人(47.1%)でした。また、「だいたい知っている」は132人(40.1%)で、条例で定められた設置場所については多くの人が理解されているようです。

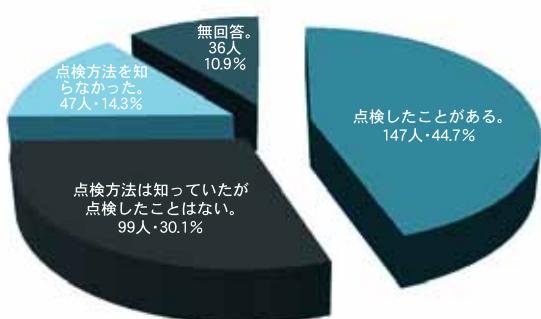
しかし、既に設置されている場所について尋ねたところ、「義務付けられている場所すべてに設置している」が171人(52.0%)で、条例で規定されている場所に設置されている方は、全体の約半数という結果でした。

住宅火災による死者を防ぐためにも、条例の規定どおり寝室や階段上部への設置を強く呼びかけたいと思います。

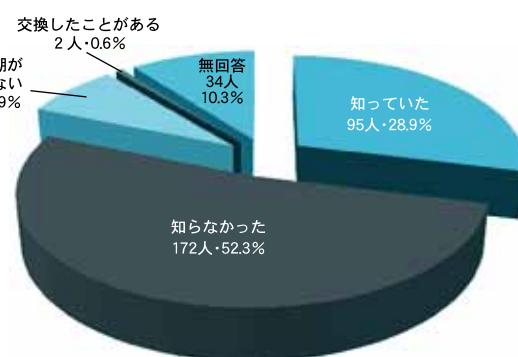
## 住警器の維持管理

住警器は火災のときにきちんと作動するように点検ボタンを押したり引きひもを引いたりして、警報音がしっかり鳴るかどうか定期的に点検することが大事です。『あなたのお宅では点検したことありますか』と尋ねると、「点検したことがある」が147人(44.7%)、「点検方法は知っていたが点検したことはない」が99人(30.1%)、「点検方法をしらなかつた」が47人(14.3%)、「無回答」が36人(10.9%)という結果でした。(図2参照)

図2 住警器の点検について



## 図3 電池寿命や本体の交換について



## 住警器の奏功事例

するためには、日頃から適切な維持管理に努めていただきたいことが必要です。電池切れ・本体の交換についても住民の皆さんに十分な広報を行いたいと考えています。

住警器が常に正常に作動

(図3参照)

で

◎『離れに住んでいた祖母が料理中に鍋を焦がしたことがあつたが、連動設定を行っている母家の火災警報器が火災信号を受け、警報を発してくれたことで早期発見が出来、大事に至らずにすんだ』

というような事例がありますでした。

また今年は、南但消防本部管内で、家人がガスコンロにかけた鍋で煮物を調理中、ガスをつけたまま外出してしまい、鍋が空焚き状態になってしまったが、台所に設置された住警器が作動し、大阪ガスの火災通報システムに移報されたおかげで、大事に至らなかつたという事例もあれば、住警器の大切さがよくわかります。

◎『トースターのタイマーが故障していて、スイッチが切れず、火災警報器が鳴つて気付いた。警報器が無かつたら火事になつていたかもしぬない。警報器の必要性を感じた。』

全国で、平成27年中に住宅火災で亡くなつた方(放火自殺者等を除く)は1,011人でした。大切な生命を火災から守るために、消防本部では今回の調査結果を踏まえ、住警器の普及啓発をより一層推進すると共に、適正な維持管理についても情報提供を続けていきます。また、消防団や関係機関の協力を得て、住民の皆さんと直接対話する場に積極的に出向いて消防教室を行います。こうして取組を通して、安全・安心な街づくりに努めています。

## 安全・安心な街づくりに向けて

## 養父市・朝来市一斉避難訓練



▲倒壊家屋からの救出訓練(伊佐地区)

9月4日、養父市・朝来市で地震を想定した一斉避難訓練が行われました。養父市は、養父断層を震源とする震度6弱の地震が起きた想定で、市民約1万人が訓練に参加しました。

伊佐地区では養父消防署や警察、自衛隊も加わり、市立伊佐小学校を中心として避難救助及び避難所開設訓練を行いました。

養父消防署は、多数傷病者の発生を想定し、同校にエアーテント式の応急救護所を開設するとともに自衛隊と協力し、倒壊家屋から負傷した住民を救出する訓練を行いました。救出した負傷者をけがの程度別にトリアージ(選別)し、災害派



▲救護所での連携訓練(伊佐小)

遣医療チーム(D.M.A.T.)の一連の流れを確認しました。また、避難所となつた同校体育館では、伊佐各地から避難してきた住民の人員報告に続き、避難所開設の手順や避難所での役割分担など、住民主導型の避難所運営について、市職員から説明を受けました。

朝来市ではマグニチュード6・9規模の地震が発生し、火災も発生した想定で訓練が行われました。口銀谷2区では避難訓練の後に、消防器取扱い訓練と天ぷら油火災実験を行いました。油火災実験では、水をかけると爆発的に炎が燃え上がる危険性を身にもつて体験されていました。

多々良木区では、防災DVD視聴の後、朝来消防署員による、減災のため自主防災組織に求められる役割についての講話が行われ、多くの方が耳を傾けておられました。また、野村区をはじめ他の市内9地区では、心肺蘇生法とAEDの取扱い訓練を行いました。



▲近畿地区指導会終了報告

さらに市内の他のモデル区(三谷区、大久保区、蔵垣区)でも多くの住民が訓練に参加し、避難訓練終了後の消防教室では消防職員指導のもと、応急手当や簡易担架の作り方の訓練が行われ、皆さん熱心に取り組んでいました。

この大会のロープブリッジ渡過部門で、当本部の神宮司隊員が16・3秒のタイムを記録し全国大会への切符を掴みました。南但消防本部では4年目にして初めての全国大会出場です。

この大会のロープブリッジ渡過部門で、当本部の神宮司隊員が16・3秒のタイムを記録し全国大会への切符を掴みました。南但消防本部では4年目にして初めての全国大会出場です。

## 第45回 全国消防救助技術大会



◀ ロープを渡る神宮司隊員(左)

こうして南但消防本部は、地域の皆様に信頼され、また、子供たちから憧れられるような救助隊を目指します。

神宮司隊員は8月24日に愛媛県松山市で行われた全国大会に出場し、地区大会で勝ち抜いた全国の強豪が競う中、17・3秒のタイムで見事全国1位の成績を収めました。

こうして南但消防本部は、広域化から4年目にして全国消防救助技術大会の出場と同時に最高の成績を收めることができました。

救助隊員にとって全国大会出場は大きな目標であり、大変な栄誉です。今後一層訓練を重ねて技術を磨き、地域の皆様に信頼され、また、子供たちから憧れられるような救助隊を目指します。

# 平成28年度 防火ポスター入選発表



## 最優秀賞

【中学校の部】  
藤野 梨優樹

（ふじの りゆうじゅ）  
八鹿青渓中学校2年



【小学校の部】  
大畑 優樹

（おおはた ゆうじゅ）  
八鹿小学校3年



『火事の原いんを、消ぼうしょの方にたよらずに自分で消す絵にしたいと思いました。火があきやすい物を考えるといろいろありました。ほくの家にあらばかりだから気をつけなければと思います。一人一人が火を出さないようにして火事をあこさないようにしたいです。』

『ボスターを描くじきに気付いたことは、だれが見てもわかりやすいことインパクトがあること、見たことがないようなもの、この3点を意識したことです。私の作品を見て、少しでも多くの方の防火意識向上に繋がると嬉しく思います。』

◆優秀賞		◆入賞
◆南但危険物安全協会長賞		◆朝来市消防団長賞
◆足立響		◆木下蒼一郎
生野中学校2年	竹田小学校4年	八鹿青渓中学校1年
10名		

◆優秀賞		◆入賞
◆南但危険物安全協会長賞		◆朝来市消防団長賞
◆足立響		◆木下蒼一郎
生野中学校2年	竹田小学校4年	八鹿青渓中学校1年
12名		
5名		

夏休み中に、養父市・朝来市内の小学校・中学校の児童・生徒から募集した防火ポスターは、総数で1,373点（小学校495点、中学校878点）の応募がありました。

9月23日に南但消防本部で行われた審査会の結果、力作ぞろいの作品の中から次の皆さんに入選しました。

9月23日に南但消防本部で行われた審査会の結果、力作ぞろいの作品の中から次の皆さんに入選しました。

9月23日に南但消防本部で行われた審査会の結果、力作ぞろいの作品の中から次の皆さんに入選しました。

◆審査員所感

今年は1373点という多くの防火ポスターが寄せられました。審査会では作品を見るたびに感嘆の声が上がり、子供たちの表現力、発想力の豊かさに驚かされました。どの作品も甲乙つけがたく、素晴らしいものばかりでした。

大畑さんの作品はデザイン的に目を引く構図で、とてもインパクトがありましたが、細かく丁寧に描き込まれており、完成度の高い作品でした。藤野さんの作品はデザイン的に目を引く構図で、とてもインパクトがありましたが、細かく丁寧に描き込まれていて、おかしくないほど全般的なレベルが高く、次はどの作品が最優秀賞に輝くかと楽しみながらの審査会となりました。

# 消防写真館




**消防訓練** (7月15日 但馬農業高等学校)

避難訓練後、消火器の取扱い訓練を行いました。①安全栓を抜く、②ノズルを火に向ける、③レバーを握るといった手順で素早く放水しました。



**救急教室** (7月13日 朝来消防署)

朝来市子育て学習センターの皆さんのが、小児と乳児に対する心肺蘇生法を学ばされました。親子で協力し、AEDのパッドを体に貼られていました。



**消防訓練** (8月2日 朝来市学校給食センター)

避難訓練や消火器の取扱い訓練の後、屋内消火栓の取扱い方法を学ばされました。多くの職員の方が、積極的に質問され、真剣に聴講されていました。



**消防訓練** (7月24日 広谷区)

広谷自主防災会の皆さんのが養父市消防団の指導の下、消火栓を使用した放水訓練を行いました。水を出した後の筒先は反動がかかるので、二人で力を合わせて取り組まれていました。

件減少しています。  
搬送人員は21人で、  
前年同期と比較すると、  
出動件数は17件、  
件減少しています。

**救急**

種別	署別	総 数	朝来署	養父署
総 数		26 (23)	17 (11)	9 (12)
建 物		6	4	2
林 野		3	2	1
車 両		3	2	1
その 他		14	9	5

( )内は前年同期件数

**※出火件数増加**

出火件数は両市合わせて26件で、前年同期に比べ3件増加しています。建物火災は8件減少していますが、冬にかけ暖房器具を使う機会も多くなります。火の取扱いには十分気を付けましょう。

**火災**

# 消防白書

平成28年  
1月～9月

種別	総 数	朝来署	養父署	管 外
総 数	42 (60)	20 (23)	22 (36)	0 (1)
交通事故	20	9	11	0
火 災	0	0	0	0
水 難	1	0	1	0
その 他	21	11	10	0

( )内は前年同期件数

出動件数は18件減少します。  
前年同期と比較すると、  
出動件数は18件減少してい

**救助**

種別	総 数	朝来署	養父署	管 外
総 数	2,340 (2,357)	1,177 (1,177)	1,160 (1,178)	3 (2)
急 病	1,411	747	664	0
交通事故	207	110	94	3
一般負傷	348	176	172	0
その 他	374	144	230	0

( )内は前年同期件数



### 養父中学校新任教員研修（8月18日・19日 朝来消防署・養父消防署）

今年採用された養父中学校の職員が朝来消防署・養父消防署で新人研修を受けました。研修の一環として体力鍛成、放水訓練、救助訓練、はしご車体験等を行いました。地上から15mの高さをはしごで登る訓練では頼もしい表情で取り組まれていました。

### 避難訓練（8月10日 あさがおホール）

火災を想定して、避難訓練が行われました。緊張感を持ち、素早く避難誘導や安否確認をされていました。



### 消防教室（9月25日 柳原区）

昼間、家庭を預かる皆さんを中心に消火栓の使用訓練を行いました。初めて訓練に参加される方もおられましたが皆さん積極的に取り組まれました。



### 消防教室（9月22日 黒川自然公園センター）

ASAGOINGゼミU-18の皆さんが天ぷら油火災実験を見学しました。鍋に水を入れると、火炎が急激に燃え上がり皆さん驚いた顔をされていました。



### 避難訓練（9月13日 生野中学校）

煙体験ハウスを使用し、煙で充満した空間から避難する訓練を行いました。実際の火災を想定し低い姿勢で避難していました。

平成27年中に全国で発生した火災の原因の中で、放火、煙草に次いで多いのがコンロによる火災です。  
近年、安全装置が装備され、コンロ火災は減少傾向ではあります。が、毎年、上位にあります。中でも最も多くの割合を占める「てんぷら油火災」についてお話ししたいと思います。

市販されているてんぷら油は、温度が360度になれば、油そのものが発火温度に達して火種等がなくとも燃焼を始めます。しかし、再利用を繰り返した油はこれよりも低い温度で発火するので同じように使用しても発火までの時間が短くなりま

す。  
てんぷら油火災の原因のほとんどが、「その場を離れた」「注意を怠った」等の人的原因による単純なミスです。「調理中は、絶対その場を離れない」「過熱防止装置が付

いたコンロを使用する」この2点を守りましょう。

コントロによる火災にご注意を!!

## 火災調査レポート

火災では消火中の負傷事案が相次いでいます。水をかけたり、鍋を持ち運ぶなどは絶対にしないでください。  
今一度、注意点を確認して、火災を起こさないように注意してください。

いと効果があります。  
それでも、火災が発生してしまつたら、消火器を使用して消火しましょう。てんぷら油火災では消火中の負傷事案が相次いでいます。水をかけたり、鍋を持ち運ぶなどは絶対にしないでください。  
今一度、注意点を確認して、火災を起こさないように注意してください。



## お知らせ

### INFORMATION

#### ◆新入職員紹介

4月に新しく5名の職員を採用しました。この内4名が、三木市の兵庫県消防学校で半年間の研修を修了し、帰任しました。



上記写真

前列右から	消防士	消防士	消防士
後列右から	消防士	消防士	消防士
	高岡 勇斗	守本 圭佑	山脇 翔太

森元	山脇	高岡
涼太	直也	勇斗
		圭佑

#### ◆訓練場舗装工事完了

南但消防本部朝来消防署は、8月3日から訓練場のアスファルト舗装工事を行いました。9月28日に工事が完了し、気分一新、日々訓練に取り組んでいます。

●種別  
平成29年2月5日(日)  
受付期間(書面申請)  
平成28年12月2日(金)～12月14日(水)

●試験日  
平成29年2月5日(日)  
編集手帳  
甲、乙、丙  
願書配布は、南但消防本部朝来消防署、養父消防署、生野出張所、大屋出張所で行っています。



▲朝来消防署 訓練場

#### ◆危険物取扱者試験

#### ◆秋の火災予防運動

消しましよう  
その火その時  
その場所で

11月9日～11月15日

##### 主な行事予定

- 一日消防官 こども園
- 消防訓練 大屋・和田山・山東
- 立入検査等 旅館・危険物施設の検査
- 消防教室 事業所・各地区
- 広報活動 防火ポスターの配布
- 防火研修 市内の旅館・ホテル



NANTAN  
119だより

#### NANTAN 119だより第11号

2016年11月1日発行(年3回発行)

- 発行・編集  
南但消防本部予防課  
兵庫県朝来市  
和田山町枚田436-1
- TEL 079-672-0119
- FAX 079-672-5046

南但消防本部



10月10日は過去の統計から晴れる特異日として知られています(他に6月28日は雨が降りやすく、11月3日も晴れの日が多いなど)。東京オリンピック開会式もこの日でした。前日の雨模様が一転、朝から絶好の天気に恵まれたそうです。なぜこの日が突出して晴天率が高いかは不明ですが、10月の前半は秋雨前線の影響で晴天率が低く、10月半ば以降は天気が周期変化する傾向があり、丁度、天候が安定する時期なのかもしれません。

幸い当地は今年の台風による大きな被害はありませんが、まだ油断はできません。秋本番。平穏な秋晴れの下で、紅葉狩や文化祭などの諸行事を楽しみたいものです。